

団体交渉速報 その①

# 「いい面もある」!?

駒田学長いわく

## 他部局と兼任する教員のかかえる問題

次の課題は  
現状を

# 正確に認識させること

\*先週13日に学長との団体交渉を実施しました。その模様をお届けします。まずは、「他部局との兼任にともなう業務のコントロール」。組合 他部局と兼任の人が増えている。人文であれば教養や地域イノベに出している。たとえばダブルワークする場合に、本来のワークスする場合に、本来の組合 他部局と兼任の人は、ひそかに悩む。それが握っているのか。把握しているとしたらどのように調整するのか。大学全体として、その間にはさ

会社からはその人がどんな働き方をしているのか見えてこないのと同様に、学部長からはその人の働き方が見えない。そうすると本人は、ひそかに悩む。それが握っているのか。把握しているとしたらどのように調整するのか。大学全体として、その間にはさ

てもその事実を認識し、配慮いただきたい。駒田 8時間を人文で何時間、その他で何時間というのをどうコントロールするかは難しい問題。むだなことをやっているわけではない。学部長が認識しているかどうか問題。両者の理解がないと、その間にはさ

またた個人は苦勞する。組合 大学全体としても各所で起こっているといことについて認識してほしい。駒田 逆にいうといい面もある。学部の壁を取っ払って、部局横断的な活動が活発になること自体は悪いことではない。そのあり方や評価の仕方が問題。

# 「10月から」の制限を撤廃

## 学生アルバイトの紹介時期問題

すでに3月の教授会でご報告させて頂きましたように、これまで生協では、新入生については学生生活に慣れる必要があるとの配慮から、半年間はアルバイトの紹介を行っておりませんでした。しかしながらこの半年の間に新入生が自らア

ルバイト先を探し、それがブラックバイトであったという事例が発生しています。一方で、生協はアルバイト先を調査した後に学生にアルバイト紹介を行っており、その安全性はある程度確保されていると考えら

れます。こうした状況を鑑みて、学生委員会では「入学後半年は生協ではアルバイトを紹介しない」というルールを撤廃することとしました。細かい運用につきましては、4月の1回目の学生委員会で決定されることになっています(井上 志浩)。

すでに3月の教授会でご報告させて頂きましたように、これまで生協では、新入生については学生生活に慣れる必要があるとの配慮から、半年間はアルバイトの紹介を行っておりませんでした。しかしながらこの半年の間に新入生が自らア

ルバイト先を探し、それがブラックバイトであったという事例が発生しています。一方で、生協はアルバイト先を調査した後に学生にアルバイト紹介を行っており、その安全性はある程度確保されていると考えら

れます。こうした状況を鑑みて、学生委員会では「入学後半年は生協ではアルバイトを紹介しない」というルールを撤廃することとしました。細かい運用につきましては、4月の1回目の学生委員会で決定されることになっています(井上 志浩)。

**学習会のご案内**  
 3月23日(金) 18:00~  
 場所 人文校舎5階会議室  
 テーマ 無期転換申込権について  
 \*組合員だけでなく、どなたでもご参加できます。交流がメインです。お気軽にご参加ください。



**三重大学教職組人文学部支部執行委員会**  
 2018年 3月20日(木) 第212号  
 津市栗真町屋町1577 三重大学人文学部内  
 編集・発行人 前田定孝  
 E-mail:kff02520@nifty.com

# 三重大教職組が「定期大会」を開催

3月14日

# 20日を中心に役員選挙投票

先週14日夕方、三重大学教職員組合の定期大会が開催されました。

抗する三重県の労働組合連動全体の動きや行政文書改ざんについてのコメントを含むあいさつのおと、総括・方針の検討に。

紹介の時期を10月から4月に変更させたこと、昨年2月の三重大学教職員組合全支部を含む市民58団体連名での学長申し入れを受け、役員会および教育研究評議会で「三重大学は安全

開会のあと臼井照男みえ労働議長から、「働き方改革」という名の残業代ゼロ法案・裁量労働制拡大に対

として新入生のアルバイト

保障技術研究推進制度への応募ししない」との決定をさせたこと、および無期転換後の労働契約書にその有効期限を記載しない約束をさせたことという3点を今期の成果として大会決議に明記する修正をすること

また方針では、「おかしなことはおかしいといえる」とりくみを「問題意識なくぼーっとして日々過ごすのはやめよう」という村上新委員長のおいさつを、運動のスローガンとして追加

新役員は、委員長・村上克介(生物資源・新)、副委員長・松岡守(教育・新)、深井英喜(人文・再)、仲西康雅(教育・新)、新美治利(工

新役員は、委員長・村上克介(生物資源・新)、副委員長・松岡守(教育・新)、深井英喜(人文・再)、仲西康雅(教育・新)、新美治利(工

## 三重大からの人材流出の原因分析を確認

### 大学当局が回答で約束

退職手当の不利益変更に関して組合側が当局に出した質問に対する回答がありました。

「役員会に報告はしましたが、当初の「改正」案のとおり」との回答でした。

しかし、「教員の流出」の原因分析をするのと、組合員の追求が必要です。

## 日本学術会議 2017 年声明1周年にあたって 大学での軍事研究に反対し 学問の自由を考える集い

記

日時 3月31日(土) 13:00 ~ 17:00

場所 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1階 1011 教室

内容 第1部 学術会議声明から1年その意義と課題

小森田 秋夫 (神奈川大学教授)

第2部 安全保障技術研究推進制度 18 年度公募要領の批判

池内 了 (名古屋大学名誉教授)

第3部 学問の自由と大学の自治の現代的課題

光本 滋 (北海道大学准教授)

パネルディスカッション 小森田、池内、光本、日本私大教連他

参加費 無料(会場で資料代等のカンパをお願いします)

主催：軍学共同反対連絡会 共催：日本私立大学教職員組合連合

後援：全国大学高専教職員組合/明治大学教職員組合

<http://no-military-research.jp/>

1月29日付けのメール「団体交渉(1月24日)で申入のあった件について」に添付の「回答」についての問い合わせについて(回答)

1月25日開催の役員会で「三重大学職員退職手当規程」を含む諸規程の改正に関する各地区事業場過半数代表者の意見の報告後、1月24日に三重大学職員退職手当規程改正に伴う団体交渉を行い、その団体交渉中に「退職手当規程改正について、施行日を4月以降にすること」、「上記が難しい場合、退職手当引き下げ対象者のうち、財政状況が厳しい者を救済すること」の2点について、貴組合より要望があったことの報告を行いました。

貴組合からの要望等を踏まえ、役員会で審議し、今回の改正に伴う退職手当の減額は、少なくとも減額であるが、大学の基盤的経費である運営費交付金が毎年削減されている大変厳しい本学の財政状況等を考慮し、当初の改正案のとおり、議決しました。

また、貴組合が懸念を表明している教員の人材流出についても、現状確認、原因分析等を行い、研究環境設備の充実を行う等のほか、対応策について検討していく必要があることを確認しました。